

北山御坊親鸞聖人の旧蹟は、一乗寺の郷中舞楽寺村にあり、西本願寺の懸所なり。むかしは山門の末院にして

諸堂嚴重たり、境地に霊水あり、故に聖水山舞楽寺と号す。聖人叡嶽にありし時、一宗開発の志願頻にして、此所に来

り百日別行し、霊水にて垢離し給ひ、洛陽六角堂救世観音にあゆみを運び給ふ。又ある夜夢中に、聖徳太子此地に影向

ありて、生極楽の要文を授給ふ、是より他力本願の一流を弘め、末世の衆生を化益ましましけり。霊水影向石ともに御

堂の東にあり。永正年中まで堂舎嚴然たりしが、其後荒廢に及ぶ。本願寺九代実如上人御堂草創ありしを、寂如上人の

代に堂舎を山科へうつさる。〔聖水山の額今山科にあり〕近年法如上人〔当御門主なり〕門徒に命ぜられ、再御堂を建

立し給ふなり。